



北九州市障害福祉団体連絡協議会 『設立二十周年記念式典 及び祝賀会』開催

二月三日(日)十一時からホテルクラウンパレス小倉で北九州市障害福祉団体連絡協議会(障団連)主催の『設立二十周年記念式典及び祝賀会』が開催されました。

『團結しよう、小さな力から大きな力へ』

今回は、北橋健治北九州市長をはじめ、井上秀作北九州市議会議長と市議会議員、北九州市障害福祉局、障害福祉に係わる行政の方々、障団連加盟団体の方々など総勢九十名の参加がありました。

「さわやか」から梶原と貞谷が参加しました。

第一部の『二十周年記念式典』が行われました。

初めに、神矢徹石常任委員より開会の挨拶がありました。

続いて、二十年の軌跡を写真とともに振り返りました。

私たちが共生社会を



北九州市障害福祉団体連絡協議会
 林 芳江会長

次に、林芳江会長より「今日は、皆様と一緒に盛大な二十周年の記念式典を実行

作っていく担い手に

次は、皆様と一緒に盛大な

二十周年の記念式典を実行

ができることを本当に心から御礼を申し上げます。

この二十年は、社会の変化に加速して障害福祉の業界にとつては、激動でした。

私たち一人一人が声を出していき、私たちが共生社会を作っていく担い手だということをご皆さんとしっかりと確認したいと思っています。

本日、ご臨席いただきました皆様のご多幸とこれからも障団連に変わらぬ力添えをいただきますようお願い申し上げます」と挨拶がありました。

次に、来賓として今永博

が、ご臨席いただきました皆様のご多幸とこれからも障団連に変わらぬ力添えをいただきますようお願い申し上げます」と挨拶がありました。

次に、来賓として今永博

要注意

今年インフルエンザA型に2回罹る人がいるかも!?

今冬のインフルエンザA型が一月に大流行となりましたが、例年流行している香港型のインフルエンザA型とは型が違っていたためにインフルエンザA型に二回罹る人がいるかもしれせん。

さらに三月ごろにはB型も流行し始め、ひと冬にイ

北九州副市長と井上秀作北九州市議会議長から祝辞がありました。

共働しながら

絆を深めてきた

今永博副市長が「この度は、障団連設立二十周年を迎えられたことを心から御祝い申し上げます。

障団連は、障害福祉を担う多くの団体が募り、気持ちの深めながら、共生社会の実現に向けた活動を続けられ、大きく発展をとげられました。



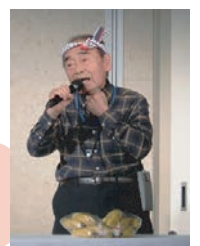
北九州市障害福祉団体連絡協議会 設立20周年記念式典・祝賀会スナップ集



イケメン3人組バンドと大熱唱!!



車いすダンス
 途中で曲が止まる
 ハプニングが...



バナナのたたき売り
 ♪サアサア、
 ♪バナナだよ。～

これもひとえに、歴代の会長をはじめとする関係の皆様のご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

また、本市と障団連とは、たくさんの意見を交わすことで、障害のある人を取り巻く課題を共有し、共生社会の実現に向けて、共働しながら、絆を深めて参りました。

今後も、本市と障団連との確かな絆のもと、共通の問題である共生社会の実現に向けて、一層力を尽くしていきたいと思っております。

皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします」と北橋健治市長からのメッセージを読まれました。

ゴールが無い

井上秀作北九州市議会議長は「今日は、障団連の設立二十周年誠におめでとう

ございます。

私は、共生社会の問題についてはゴールが無いと思っています。

長い、長い道のりを障団連の皆様には一生懸命に取り組んでいただき、共生社会が身近なものになっていきますように心から祈念申し上げます」と挨拶されました。

祝電披露のあと、障団連の故江頭博幸元会長の眞紀子夫人と北原守前会長に感謝状と記念品の贈呈がありました。

最後に、伊野和子副会長より「これからも皆様とともに共生社会の実現に向けていきますようにどうぞ今後さらなるご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます」と閉会の挨拶があり、正午に式典が終了しました。

(裏面へつづく)

お互いを労いながら 親睦を深めて欲しい

(表面よりつづき)

休憩をはさみ、午後十二時二十分から、第二部の『記念祝賀会』が行われました。初めに、森聖子常任委員より開会の挨拶がありました。

北原守前会長のご苦勞を

改めて感じた

続いて、林芳江会長が「私が、会長を仰せ付かって、半年が経ちました。

会長に就任して、会議や行政からいろいろな打診などが多くなり、こんなに会長が忙しいのかと思うと、北原守前会長のご苦勞を改めて感じました。

そして、今まで支えてこられた古賀由美子事務局長や事務局、役員の皆様も労っていただきたいと思っています。

また、本日までそれぞれの活動にご協力をいただいた皆様もお互いを労うということ、親睦を深めていただきたいと思っています。」と挨拶がありました。

次に、来賓としてかけつけていただいた北橋健治北九州市長が「障団連の皆様、設立二十周年、誠におめで

とつづきます。

そして、林会長をはじめ、皆様におかれましては共生社会の実現を目指して、本日まで二十年間、素晴らしい活躍、そして、行政にとりましても心強い、格別のご支援とご指導をいただき、御礼を申し上げます。

これからも共生社会を

目指し努力を

これから皆様と知恵と力を併せて、障害福祉の発展のために共生社会を目指して努力をして参りたいと

子供だけじゃない！

大人もかかる中耳炎

中耳炎というと、子供がかかるものと思うかもしれませんが、大人にも起こりえる病気です。

大人の耳は、子供に比べて中耳炎になりにくい構造をしています。一度発症すると完治までに時間がかかる事も、大人はつい我慢してしまふことも多く、受診せずにいると慢性化してしまふ危険性もあります。違和感を感じたら早めに



思っております」と挨拶されました。

次に、北九州市教育委員会の垣迫裕俊教育長が乾杯の音頭をとり、祝宴に入りました。

美味しい料理に舌づつみを打ちながら参加者同士、交流を深めました。

歓談の途中には、北九州創声会の眞木省三氏よりバナナのたたき売りの口上の

パフォーマンスをしていただきました。

そして、日本車いすダンススポーツ連盟北九州市支部の皆さんが車いすダンスを披露されました。

また、(公財)北九州市身体障害者福祉協会のイケメン三人組バンドの生演奏をバックに、市議会議員の方々が障団連の役員の方々などが壇上にあがり、「上を向いて歩こう」と「栄光の架橋」を歌いました。

最後に、古賀由美子事務局長よりこれまでの感謝の言葉と閉会の挨拶があり、記念祝賀会は十四時に終了しました。

入れ替えて鼓室の中の圧力と外の圧力とを同じにする必要があります。この働きをしているのが耳管です。

中耳炎は鼓室に細菌やウイルスなどが入って炎症が起きたり、膿みや水がたまる病気です。

細菌やウイルスは、ほとんどが鼻から耳管を通って入って行



きます。

水泳やシャワーの時に耳から入った水が原因で中耳炎になる事は鼓膜に穴が空いてない限りほぼありません。中耳炎を予防するために

◎鼻やのどの炎症に注意

中耳炎の原因の多くは、風邪やインフルエンザ、花粉症などの鼻やのどの炎症です。

鼻水がなかなか治らないなど症状が長引いたときは耳鼻科を受診するようにしましょう。

◎鼻はすすらず

やさしくかむ

鼻水はすすらず、できるだけかむようにします。

ただし、勢いよく鼻をかむと細菌やウイルスが耳管を通って、鼓室に炎症を起こす原因になるため片方ずつゆっくりとかむようにします。

◎ストレスや過労、

睡眠不足をさける

ストレスや過労、睡眠不足が続くと免疫力が低下し、様々な病気にかかりやすくなるほか、耳管の機能も悪くなります。

疲労を感じたら無理せず休むなどできるだけ休息をとるようにしましょう。(インターネットより抜粋)